

# けやき

龍ヶ崎市立城西中学校

学校だより

2019. 11.18 号

320人（1年100, 2年101, 3年119） 文責 根本 清史



## 自己進路実現に向けて

2学期も後半になると三者面談・二者面談を通して、学校生活の様子や学習状況の確認・卒業後の進路についての意見交換と話し合いを行っています。今回の3年生の三者面談では、本人・保護者・担任により、進路の決定を行っています。まだ卒業まで4ヶ月ありますが、11月中にはどのような方向に進もうとしているのかを確認することになります。その際に大切になるのが「本人の意思」です。将来、どのような仕事に就きたいのか、そのためには中学校卒業後の進路をどのように踏み出せば良いのかが話し合われます。もちろん、15歳の時点で“将来の職業”まで考えられない人もいます。そのような場合でも卒業後の第一歩をどのように踏み出すかは、とても大切な判断になります。人生は悩みの連続ですから、途中で方向を変えることもあるでしょう。

だからこそ、現在の自分自身と向き合い“将来”を真剣に考えることが求められます。保護者と同席した面談時に、自分の考えや夢を表現できる人になってほしいと願っています。自分の人生は自分自身でつくっていきます。家族（保護者や兄弟）が進学するわけではありません。あくまでも自分なのです。

変えられるもの (コントロールできること)	変えられないもの (コントロールできないこと)
自分	他人・環境
思考・行動	感情・生理反応
未来	過去

昨年度の3月号にも記載しましたが、

**「自分と未来は変えられる！」**という言葉覚えていますか。（1年生は初めてかもしれませんが。）中学生という年代は“13～15年の人生”です。これから先の方が長い人生となります。その自分自身の時をより良いものにしていくためには、1人1人の

心もちが大切になります。過ぎた時間や出来事にばかりに気持ちがいつまでも“過去”は変えられません。しかし、“未来”は変えられます。今までの自分を振り返り、これからどんな自分になりたいのかを考え、その意思を意識しながら生活することで、いつの間にか自分が変容していくことでしょう。未来を変えられるのはあなただけです。先生方はみなさんの将来のために全力で関わっていきます。

## 復活なるか!?

## Silent road

サイレントロードは、平成24年度の生徒会が、3本柱の一つである「伝統を守り、生活の意識が高い学校」を目指してはじめた活動です。

平成25年度生活安全委員会

サイレントとは

- ・音を立てないこと
- ・無言であること



今から7年前に生徒会の取組を受けて、生活安全委員会が行った活動です。職員室わき廊下にはその活動の足跡が掲示されています。

現在の城西中はホールから合唱の歌声が聞こえてきたり、友だちとの楽しそうな会話が耳に入ってきたりと“素敵な音”も感じられます。しかし、好ましい音だけではない時間が増えてきているようにも感じます。サイレントロード活動は、当時の生徒や教職員が必要性を考えて行った取組だと思います。友だちと談笑しながら歩いても良い場所・大きな声を出してもまわりに影響を与えない場所・静かに通ることが望ましい場所・無言が求められる場所。

是非、先輩たちが築き上げてきた適切な取組は城西中学校の伝統として受け継いでほしいと思います。